

第9回 石油に関する講演会 & 野外見学会

期 日 : 2008年6月7日(土)

会 場 : 石油の里&新津美術館

定 員 : 野外見学会 40名、講演会 60名(申込順)

参加費 : 200円(当日受付で)

申込み : 住所・氏名・電話番号を

新潟市秋葉区 政策企画課 文化・スポーツ係へ

電話 0250-25-5671 FAX 0250-22-0228

メール seisaku.a@city.niigata.lg.jp

申込締切 : 6月3日(火) 17:30まで

※ 電話申込は、土日を除く 8:30-17:30 とさせていただきます。



野外見学会 (9:00 ~ 11:30 、集合 9:00 古代館 秋葉区金津、石油の里公園)

見学場所 ロマンの遊歩道

案内 石油の世界館友の会スタッフ

遊歩道沿いには、石油探掘に使われた文化遺産(石油やぐら、ポンピングパワー、継転機など)が遺っていて、先人が築いた石油文化のロマンを感じます。山道を少し歩きますが、遊歩道沿いには豊かな自然も広がっています。新緑の香りを楽しみながら探さくしてみませんか!

服装 : 動きやすい服装、帽子、運動靴
準備 : 飲み物、雨具、筆記用具など



講演会 (13:30 ~ 15:30 新津美術館)

講演 「開発が進むカナダオイルサンド」—恐竜時代の地層に眠る大型資源—
講師 高橋明久 石油資源開発(株) 探鉱本部

カナダには、オイルサンドと呼ばれる通常の原油とは少し異なる性質の原油が多量に存在します。オイルサンドは油の入った砂ですが、入っている油はビチューメンと呼ばれる粘り気の高い真っ黒な油で、常温ではほとんど流れません。そのオイルサンドからビチューメンを取り出す話とカナダオイルサンドの現状を、現地の写真を交えながらお話します。

講演 近代化産業遺産「金津油田」 講師 石塚 清 新潟市秋葉区 副区長

平成19年、金津油田が経済産業省の「近代化産業遺産」の認定を受けました。近代化産業遺産とはどのようなものなのでしょう。なぜ金津油田が選ばれたのか、また、これらの遺産は地域活性化のためにどのような活用が考えられるのかお話しします。

スライド上映 「石油の遺産めぐり」 講師 庭田盛範 石油の世界館友の会幹事

秋葉区の金津地域には、石油探掘に使われた文化遺産がたくさん遺されています。それらの写真を集め、スライド上映をします。「石油の里」を再認識する機会になればと思います。